

【109シネマズプレミアム新宿】

映画『Tokyo Melody Ryuichi Sakamoto』4K レストア版公開記念

“表現者が坂本龍一を語る”一夜限りのトークイベント

嶋田ちあき × 安珠 × 鈴木正文

2月6日(金)に開催

株式会社東急レクリエーション(本社:東京都渋谷区、社長:木村 知郎)は、2023年4月に開業した「東急歌舞伎町タワー」内に位置する「109シネマズプレミアム新宿」にて、ドキュメンタリー映画『Tokyo Melody Ryuichi Sakamoto』4K レストア版の公開を記念した特別上映つきトークイベントを、2026年2月6日(金)に開催いたします。

TOKYO | RYUICHI MELODY | SAKAMOTO

トキョー・メロディ 坂本龍一

4K Restoration



『Tokyo Melody Ryuichi Sakamoto』4K レストア版 公開記念 一夜限りのトークイベント 概要

1984年、32歳の坂本龍一が見つめていた〈東京の音・自身の音〉。

そのまなざしを記録した、幻のドキュメンタリー『Tokyo Melody Ryuichi Sakamoto』4K レストア版の公開を記念し、上映つきトークイベントを開催します。

トークには、本編でもジェンダーレスでアバンギャルドなメイクを坂本龍一氏に施し、80年代の一時期、その「顔」をつくったメイクアップアーティスト・嶋田ちあき氏、そして1980年代にモデルとして世界で活躍し、現在は写真家として活動する安珠氏が登壇します。安珠氏は、イエロー・マジック・オーケストラ(YMO)主演の映画『プロパガンダ(A Y.M.O. FILM PROPAGANDA)』にヒロインとして出演し、その姿は本作の中にも、強い印象を残しています。

実際に映画に関わり、当時の坂本龍一氏を知るお二人だからこそ語ることのできる、時代の空気、撮影の記憶、そして創作の現場。

その言葉を導くのは、元GQ JAPAN編集長で、坂本龍一氏と同世代、長年にわたり親しく対話を重ねてきた編集者・鈴木正文氏です。

1980年代の東京、そして坂本龍一氏の創作の横顔。

当事者の言葉とともに、その時間をあらためて体感する、貴重な上映つきトークイベントです。

◆上映日時

2月6日(金)19:00~

※本編上映後にトークショーを実施

◆登壇者(敬称略)

嶋田ちあき

安珠

鈴木正文(司会)

◆料金

CLASS S: 6,500円(シネマポイント会員: 6,000円)

CLASS A: 4,500円(シネマポイント会員: 4,000円)

※上映開始の1時間前からメインラウンジ利用可能

※チケット金額にウェルカムコンセッショ(ソフトリンク・ポップコーン)サービス料金を含む

※CLASS S の方はプレミアムラウンジ「OVERTURE」をご利用いただけます。サービスの詳細は下記よりご確認ください

サービス詳細: <https://109cinemas.net/premiumshinjuku/news/9208.html>

◆販売スケジュール

1月30日(金)0:00より 109シネマズプレミアム新宿 公式HPより販売開始

※シネマポイント会員は 1月29日(木)21:00より販売開始

※劇場では 1月30日(金)のオープン時より販売

※オンライン販売で完売になった場合、劇場販売はございませんのでご注意ください。

109シネマズプレミアム新宿 HP: <https://109cinemas.net/premiumshinjuku/>

作品概要

◆『Tokyo Melody Ryuichi Sakamoto』4K レストア版

監督: エリザベス・レナード

出演: 坂本龍一、矢野顕子、細野晴臣、高橋幸宏

1984年にフランス国立視聴覚研究所(INA)が制作した
坂本龍一のドキュメンタリー。当時30代だった坂本の貴重なイ
ンタビューやスタジオでのコーディング風景、
そして渋谷スクランブル交差点や新宿アルタなど、1980年代の
生き生きとした東京の姿が収められている。今もなお人々の心に
生き続ける世界的音楽家・坂本龍一、若き日のポートレートを通
して見る《東京の音》を体感できる。



©Elizabeth Lennard

登壇者プロフィール

◆嶋田ちあき

ヴィエルジュ主宰。

演出家を志していた大学在学中にメイクアップと出会う。

その後、アシスタント専任期間 6 ヶ月という異例の早さでデビュー。

1979 年よりフリーのメイクアップアーティストとしてファッション、コマーシャルを中心にタレント、女優、モデルのメイクアップを数多く手がける。

女性誌のビューティーページや表紙でいつも評判のモード

性を取り入れたメイクと、その人の個性を引き出すバランス感覚で多くの女性から支持されている。

執筆、化粧品関連のアドバイザー、メイクショー、TV 出演などでも活躍。

1995 年以降、一般の方々に最新のメイクアップとプロのテクニックをレクチャーする[嶋田ちあき パーフェクトメイクアップレッスン]やプロのメイクアップアーティストを養成する「嶋田ちあきメイクアップアカデミー」を開講、さらに自らプロデュースしたヘアサロンをオープンした。

さらに 2009 年からはメイクブランド[BRILLIAGE](ブリリアージュ)をプロデュース。

また美容系雑誌のベストコスメ審査員、舞台や CM など活動の舞台を一層広げている。

今後もヘアメイクに関する情報発信の場をさらに広げていく。



◆安珠

安珠(Anju)東京生まれ。ジバンシーにモデルにスカウトされ渡仏。

パリコレや世界各国のヴォーグやエルなどで活躍後、写真家に転身。文章を織り交ぜた物語のある独自の写真世界作品で注目される。作品や雑誌連載、広告の他に文筆や講演などでも活躍。近年は、2023 年に代表的な少年少女シリーズの最新作 「A girl philosophy」をシャネル・ネクサスホールで開催。2024 年、日本とジャマイカ国交 60 周年を記念して「PHOTO ONE LOVE」をジャマイカ 国立美術館と日本で開催。戦後 70 年を境に子どもたちに「写真を読み解く力」についても活動。



◆鈴木正文

1949 年生まれ。業界紙記者などを経て 1983 年、二玄社に入社。自動車雑誌「NAVI」の創刊に携わり、89 年に編集長に就任した。以降、「ENGINE」(新潮社)、そして「GQ JAPAN」(コンデナスト・ジャパン)の編集長を務め、2022 年に独立。著書に『「○×まるくす』(二玄社)、『走れ、ヨコグルマ』(小学館文庫)、『スズキさんの生活と意見』(新潮社)など。坂本龍一の2冊の自伝である『音楽は自由にする』(新潮文庫)『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』(新潮社)では、聞き手を務めた。



photo by Kazumi Kurigami

109シネマズプレミアム新宿とは

東京都新宿区に2023年4月14日(金)に開業した「東急歌舞伎町タワー」9F・10Fに位置する“109シネマズ”的新ブランドです。全席が一般的なシネコンの最大約2.3倍の大きさのプレミアムシートで、全シアターに坂本龍一氏が監修した極限までリアルな音を追求した音響システム「SAION-SR EDITION-」が搭載されています。また、上映1時間前からチケットを購入した方のみが入れるラウンジが利用できるほか、ポップコーンとドリンクが鑑賞前おかわり自由の「WELCOME CONCESSION」、ジャパニーズウイスキーやこだわりのフードを揃えた「THE BAR」もお楽しみいただけます。

ここにしかない上質な鑑賞環境とおもてなしを提供し、これまでの常識を覆す“感性を開く映画館”として、非日常世界への没入体験をお届けします。



リンク一覧

- ・109シネマズプレミアム新宿 HP:<https://109cinemas.net/premiumshinjuku/>
- ・109シネマズプレミアム新宿 X:https://x.com/109_PREMIUM_SJ
- ・109シネマズプレミアム新宿 Instagram:https://www.instagram.com/109cinemas_premium/